



BUSINESS VISION

BUREAU
VERITAS

BUREAU VERITAS JAPAN NEWSLETTER



■ クライアントニュース

ユーロスター環境報告書の第三者検証業務を担当



ユーロスターは、三大株主である SNCF(フランス国鉄)、SNCB(ベルギー国鉄)、EUKL(ユーロスターUK)から成る非法人格のジョイントベンチャーで、英仏海峡トンネル経由で、イギリス、フランス、ベルギーを結ぶ国際高速列車サービスを提供しています(1994年開業)。2007年4月に、ユーロスターの環境に対する一連の取り組みをまとめることを目的とした”Tread Lightly”イニシアチブを開始しました。

ビジネスチャレンジ

2007年11月、CTRL(イギリスの高速新線)が全線開業したことに伴い、ロンドンのターミナル駅を、ウォータロー駅からセント・パンクラス駅に移しました。ユーロスターは、企業活動がもたらす環境負荷を削減することを目的とした”Tread Lightly”イニシアチブの一環として、この新たな高速線における操業開始より、全運行をカーボンニュートラルとするコミットメントを掲げました。”Tread Lightly”プログラムには多くのイニシアチブを導入されていますが、その中の1つに、「各運行における二酸化炭素排出量のオフセット」が挙げられています。カーボンオフセット購入のプログラムや、カーボンニュートラル状況と二酸化炭素削減計画に関するステートメントに対する、社外ステークホルダーの信頼を維持する為に、ユーロスターは、プログラム全体、及び公開される関連情報の検証をビューローベリタスに依頼しました。



ソリューション

ビューローベリタスは、ISAE3000(国際保証業務基準 3000)とGRI(グローバルリポーティングイニシアチブ)によるガイドライン第3版(G3)が定める基準に基づいた、独自の手順に沿って、二酸化炭素排出量の検証業務を開始しました。この手順は、社外ステークホルダーに向けて合理的な保証を提供するために考案され、関連性・完全性・一貫性・透明性を備えた正確なデータを収集し報告するために、手順・プロセス・システムが整えられています。



BUSINESS VISION

BUREAU
VERITAS

BUREAU VERITAS JAPAN NEWSLETTER



ビューローベリタスが実施した検証業務には、下記の作業が含まれます：

- 現地訪問、主要スタッフ及びデータ管理者へのインタビュー
- 列車運行予測、カーボンフットプリントの計算などを含むデータの収集及び移動プロセスを確認
- マネジャー及びカーボンオフセットプロバイダーとの討議、プロジェクトの選別及び設計プロセスのレビュー、カーボンクレジット及び用いられた規格の検証
- 年間レポート及びホームページの正確性、バランス、明確さ、品質理念との整合性などの社外公開情報の質・量に関するレビュー



組織にとってのメリット



このプロジェクトの最終成果品は、主要な所見及び改善のための推薦事項が含まれる**第三者検証報告書**でした([ユーロスターのホームページ](#)で公開中)。この検証プロセスは、①ユーロスターによるカーボンニュートラル報告内容に対する社外ステークホルダーの信頼を高め、②環境報告書の正確性に対する経営者層の自信を高め、さらには③関係者全員に、プロセス改善に向けた推薦事項を提供することとなりました。